

平成16年

No.230

# 波紋

2004 8月

PUBUSHER: 森松株式会社 EDITOR: 梅田文康



優勝

第21回 改善発表会 開催日 7/10(土)

GMエキスパート

賞金  
¥50,000  
オメデトウ!

## 『よみがえれ! デッド・ストック』

GMエキスパート  
メンバー

発表者 村田 恒夫

梅田 文康 成瀬 勝英  
大橋 康成

前回の改善発表会後のサークル編成で、今回は経理と配送が同じサークルになり、お互いに協力して取組める倉庫内に眠っているほとんど動きの無い商品「デッド・ストック」への対処をテーマに掲げ改善活動に取り組みました。

従来、販売管理に備わっていた在庫照会機能を利用したデッド・ストック専用管理や、デッド・ストックのカタログとしても利用できる回覧ファイルなど、今後も継続して取組める土台作りはできたと思います。

また、積極的にデッド・ストック販売に取り組んでいただきました皆さん、ご協力ありがとうございました。

梅田 文康 (GMエキスパート)

優勝	準優勝	3位	4位	5位
GMエキスパート 賞金 ¥50,000	クイックファイブ 賞金 ¥25,000	レインボーⅢ 賞金 ¥15,000	Σ-208 賞金 ¥7,000	ニーズ 賞金 ¥3,000

『ISOT雑感』

社長 森 直樹

ISOT・国際紙製品展を見学してきました。二年ぶりの見学でしたが、東京ビックサイトに700社近くの国内外からの出展者が集まり、半日かけてちよっど回りきれるという規模でした。海外20カ国からの参加企業が国別、また中国などは地方別に集団で出展する様子はすっかりおなじみの光景でした。

かねてから耳にしている日本の製造業の空洞化に関して、人件費その他コストの安いところで生産することは当然の選択であり、国内では研究開発、また即座の対応が必要な生産部分が残るといことは今の時代の流れであると思います。それを反映してか、新製品でも企画開発のみ国内で、生産は海外、ということも多々あります。となりますと今回私が展示会で目にしたパソコン周辺の小物、また画面上の書類に捺印が出来るといった電子文具は今後研究開発の進んでいく分野の文具でしょう。そしてこれらの新製品は各国独自の商習慣、文化に基づき生み出されるものであり、国内の事情を理解している人（これは国籍を問いません）によつてこそ生み出されていくものです。そういった点では国内市場においての地元企業の利点といつては揺るがないものではないかと。

現状では文化の違いによる海外進出の難しさといつのも、多々存在します。これも先ほどの商品開発と同じく、進出先の商習慣、文化に対して日本のやり方で運営した結果ではないでしょうか。欧米と異なり、大多数が同じ文化的背景を持つ日本と、異文化、また他民族の混在する欧米とは「ミニメーション」の方向性でも大きく異なるはず。この海外進出出来る、といつてもひとりのノウハウであり技術でしょう。それは異なる価値観を受け入れ、進出先の人材とともに、日本の要求する品質で生産できる体制を作り上げていくことです。そしてただ安く生産するだけでなく、如何に海外の人的・物的資源を利用し、新たな価値を生み出すかと考えることがこれから必要とされる視点です。

naoki@morimatsu.net

2004年 8月

の予定



25日 (水)	24日 (火)	23日 (月)	21日 (土)	18日 (水)	14日 (土)	16日 (月) ~ 12日 (木)	10日 (火)	2日 (月)
編集会議	生産会議	営業会議	第2回「困ったことだな」研修会 PART 2	小坂美香さん誕生日	福重貞子さん誕生日	夏季休暇	松本美代子さん誕生日 誕生日会	愛知グリーンプラ研究会 産業貿易会館にて
17時30分	18時	16時30分	13時30分				12時	14時



## 「モーリンググループ決算パーティー」

6/20(日)モーリンググループ3社の決算日を迎え、丸の内の「葡萄畑」にて決算パーティーが行われました。

森会長からの挨拶、村田マネージャーからの仮決算報告の後、錦見顧問の乾杯の音頭にてパーティーが始まりました。

美味しいワインと食事を楽しみながらカラオケが始まり、中国からの研修生、呉さんと蔣さんが「北国の春」を日本語で歌えば、岩間さんと加藤さんが中国語で歌い返すとなど、なごやかな雰囲気の中、楽しませていただきました。

最後に、森社長から次期に向けての抱負の挨拶と、全員での大合唱で閉会となりました。幹事を務めて頂きました、光田さん・加藤さん・安井さんお疲れさまでした。

梅田 文康 (GMエキスパート)



## 編集後記

昨年の今頃は何をしていたのかな、とふと考えることが時々あります。今の生活のリズムにすっかり慣れてしまい、昨年の夏も今と同じように過ごしていたような気になつてしまいます。けれども、そういえばと思いついてみると、昨年の今頃はちょうど就職活動をしていました。

就職活動中は他にアルバイトなどのコミットメントを持たなかったのですが、いったい私は毎日の余った時間をどのように過ごしていたのかといえ、ひたすら本を読んでいた。だいたいは図書館で借りてくるハードカバーが、近所の古本屋(新古書店?)で100円で買ってくる文庫本です。疲れている時はミステリーやロマンスなどのエンターテイメントで、お勧めは宮部みゆき、東野圭吾、唯川恵、藤堂志津子などです。ちょっと生懸命読んでみようかなと気が向ければ文学作品や評論を手に取ります。宮本輝(エンターテイメントかもしれない)、遠藤周作、村上龍、安部公房などを、読んで読み返したりしていました。

最近本を読むことはあまりなく、読もうと思つて買った本がたまってゆくばかりです。仕事を覚え知識を身につけたいという思いは社会人として当然ありますが、それでもやはり、私にとって本を読むことはプライオリティが高いです。昨年のようにとはいきませんが、また本に埋もれて夏を過ごしたいというのが、私のひそかな夢です。

飯田奈都子 (ニーズ)



### 『ジンギスカン・マルコポーロ』



森 信之

最近、10キロの金地金入り千両箱がかなり売れているようです。スゴイですね、景気の良いはなしを聞くだけで元気が出てきます。

その金の魅力にとりつかれた人に、ジンギスカンと呼ばれたフビライ・ハーンがいます。日本人なら全員が知っているあの「元寇」の張本人で超有名人。蒙古の王様でフビライ・ハーンは1274年と1281年の二度にわたって、日本を攻めています。NHK大河ドラマでも私も見ました。

「文永・弘安の役」と日本史で勉強しました。この日本襲来した目的は「日本の金ねらい」だったと言う説が有力です。

1206年、蒙古の皇帝についたフビライ・ハーンは軍隊を編成して、世界制覇に乗り出しました。その資金を作るため金鉱山・銀鉱山の開発に着手した。そこで目を付けたのが我が日本の金・銀というわけです。一度に船900隻、3万人の大軍を日本にさしむけたというのですから、その気合の入れ方は半端じゃありません。「日本には金があふれている」とフビライ・ハーンに吹き込んだのはイタリアの冒険家・商人で当時蒙古に滞在していた、マルコポーロ。「東方見聞録」に記述されています。政治家・商売人と詐欺師は同業だ、と言い切る愛知選出の国会議員がいますが、本当に上手にプレゼン（提案）したものです。

信ずる者は騙される。騙す人・騙される人両方いますが、日本以外の国では「騙される人はアホ」と言う説が圧倒的に多い。

### 『オリンピック』



牧野光昌（クイックファイブ）

いよいよ第28回オリンピック・アテネ大会の開催がまじかにせまりました。近代オリンピックの第1回大会は1896年の春、ギリシャのアテネで行なわれました。それから108年、第28回大会で再びアテネの土を踏み、オリンピックは生まれ故郷に里帰りすることになったのです。近代オリンピックというからは古代オリンピックもあつた訳で、なんと調べてみたら第1回大会は紀元前776年といえますから驚きです。発祥の地オリンピックで鍛えた体、強い意志とエネルギーを神ゼウスに奉納するために始まったと言われております。ちなみに近代オリンピックはスポーツを通して国際親善を推進しよう、という考えで始まったようです。しかしオリンピックの歴史の中には、戦争や政治的な問題で中止になったり、ボイコットする参加国が多数でたりという事があったようです。それでもやはりスポーツマンシップという正々堂々と互いの力をルールの中でぶつけ合う姿は誰もが感銘をうけるものです。選挙にも行かないような若者が「ガンバレ！ッポン！」と叫ぶ姿はそれなりに感銘を受けているのだなあ、と感じます。

国内ではプロ野球チームの合併問題で騒がれているが、その状況を見ていると、スポーツというより野球ショーの利益に群がっている人たちの利権争い、といった感じですね。とてもスポーツマンシップなんて言葉は使えなくなつたプロ野球の世界に未来はあるのでしょうか。

さて、注目の選手、注目の競技など皆さんいろいろと思いはあるでしょうが、私が最も注目するのはなんと、開催日までに工事が終わるの？という点でしょうか。

「ガンバレギリシャの建設屋さん!!」

### 『自転車』



大和田夕美（クイックファイブ）

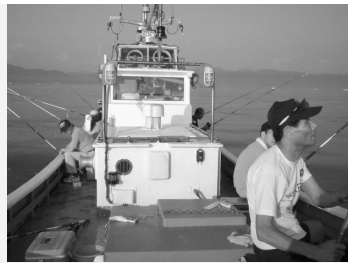
先日、10年ほど愛用している自転車のカギを無くしてしまいました。部屋中をスミズミまで探し、洋服のポケットを確認したり、最近使ったかばんの中を何度も確認しました。でも、何処で紛失したのか分かりませんが、カギは出てきませんでした。10年も愛用していた私の自転車は、見た目もポロポロだし、タイヤの空気はすぐ減つてしまい、何かイマイチ...

ホームセンターのチラシを見ると、カッコイイ自転車安値で販売されています。買い換えようかな、買い替え時かな、と思つて気楽に考えていましたが、今は自転車を捨てるのも、お金と手間が必要になり、それにやっぱり壊れてないのに捨てるのは勿体無い気がしてなかなか踏切れず、ズルズルと考へて...。会社の人に「カギを壊して新しいのを付けたいのよ。」と、教えて頂き、自分でも、そーだ！そーだ！と何気なくカギをドライバーで外しかけてました。あれ？よく考えたらカギがずか、タイヤと自転車の本体にぶるりと鉄の輪が繋がっています。女性に簡単に壊せるはずなんです。自分ですすよ。やり掛けたのでそのままの状態するのも気分が悪いので、仕方なくそのまま近所の自転車屋さんへ運んで行き、カギを大きなペンチで切断してもらい、カギを取り付けてもらいました。最初から、自転車屋に持って行けばと...、ちよつと自分が情けなく思いましたが、カギを新しく替えただけで済んで良かったと思えました。いつまで乗れるか分かりませんが、これからも大事にしていきたいと思えました。

カギ修理代 1500円でした。



### 「永年会主催 アジ・イカ釣り」



7/3(土)、永年会主催アジ・イカ釣りに行ってきました。場所は、敦賀港から漁船美幸丸に乗り40分くらいの敦賀湾沖で、現在水漏れが原因で稼動していない原発のもんじゅもありました。

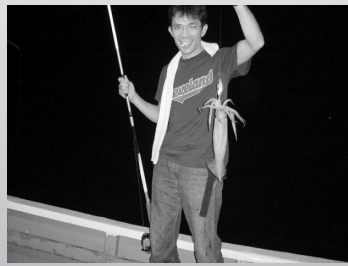
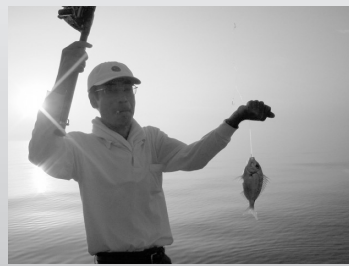
当日の天候は、大変いい天気にも恵まれ、風もなければ波もうねりもなく平波の状態でした。気温32度の中は、海上でもこんなに暑いのか!?と思うほど暑かったです。

海に浸かりたい気持ちを抑え、午後3時ごろからアジ釣りを開始しました。アジにカワハギ、タイ、中には高級魚のアズキマスも釣った人もいました。

7時頃からはイカ釣りを始め、一人一杯は釣り12時ごろ終了となりました。

今回はイカ釣り+アジ釣りもあり、漁船に9時間カンヅメの耐久釣りでしたが、参加者9名全員が途中でリタイヤすることもなく完走してくれました。参加者の元気に拍手!

松井 宣和 (Σ-208)



### 『子供たちの野菜と私の仕事』



三浦政幸 (ニーズ)

今、我家では、家庭菜園の収穫の時期を迎えております。今年で3年目になりますが、今年が1番の豊作の予感です。

過去2年間は散々な結果でした。比較的簡単な野菜ですらほとんど収穫が出来ない状態で、今年こそはと、色々な野菜を畑にて作っている近所の方に、アドバイス(土壌改良、肥料のあげ方、水のあげ方等)をして頂き、この様な結果に繋がったのだと思います。ナス・キュウリ・ミニトマト・ピーマン・しそ...どれも無農薬で作った新鮮な野菜達は、子供の好物でおやつ代わりに、もぎたてのキュウリを1本ペロリと食べてしまう程です。勿論、食卓にもいろんな料理に姿を変え並んでおります。

これ迄、3年家庭菜園をやつて来てよかった事は、子供達にとつて野菜が育つていく喜び、収穫を待つ楽しみをじかに感じ、収穫した時の事を本当にうれしそうに(目を輝かせながら?)私に報告してくれる事です。

このような事は、仕事にも通じるのではないかと思います。ひとつの商品を商品化するには試作開発し、色々な方からのアドバイスを受け、商品の仕様を変えたり、販売戦略を練ったり、切り口を変えて、販売につなげる。大きな収穫を得るのは、容易な事ではないが、大切に野菜を育てるように、商品も育て販売していきたいと思えます。